

2020年6月22日 第328号

憲法共同センターNEWS

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター
〒113-8462 文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX 5842-5620)
<http://www.kyodo-center.jp> mail: move@zenroren.gr.jp

総がかり行動実行委員会 激しい雨の中「19日行動」に1200人 問題山積 国会ひらけ！

今こそ、市民と野党の力で安倍政権を退陣に追い込もう

総がかり行動実行委員会は6月19日夜、国会議員会館前で「19日行動」を行い、激しい雨が降る中1200人が参加。コロナ対策やモリ・カケ、桜を見る会、河井夫妻の公選法違反の疑いでの逮捕問題など問題が山積しているのに、これらの追及を恐れ、国会を閉じた安倍政権。今こそ市民と野党が力を集中し、安倍政権を退陣させるため奮闘していくことを決意しました。

日本共産党・山添拓参議院議員、沖縄の風・高良鉄美参議院議員、立憲民主党・岸真紀子参議院議員、社民党・福島瑞穂参議院議員が駆けつけあいさつしました。

総がかり行動実行委員会共同代表・小田川義和全労連議長が主催者あいさつ。「国会は閉幕したが、コロナ危機もあり、年末までの会期延長を求めてきた。遅い、少ない、的外れのコロナ対策。持続化給付金がまだ届いていない会社がたくさんある。給付金の支給業務をめぐっては、電通やパソナがピンハネ、河井夫妻や黒川元検事長問題、モリ・カケ、桜など解明すべき課題がたくさんあり、国会を休んでいる暇はない。国会を止めるな、国会再開を、と声をあげよう。改憲発議反対の署名を軸に運動を強めよう」と呼びかけました。

4人がスピーチ。日体大・清水雅彦教授は「安倍首相は、大統領的の首相になりたいと言っているが、法の支配を否定するもので許してはいけません。緊急事態は安倍政権が続いていること。安倍首相をクビにしよう」と呼びかけました。



止めよう！辺野古埋立て国会包囲実行委員会・木村辰彦さんは「6月7日の沖縄県議選は玉城知事を支える与党が過半数を獲得し民意が示されたが、12日に辺野古の埋立てが再開された。民意を踏みしめる安倍政権は許せない。イー・ジェス・アショアの配備が停止された。辺野古新基地建設も中止すべきだ」と訴えました。

劇作家・演出家・坂手洋二さんは、演劇、映画、ライブハウスなどが自粛要請で収入がなくなった状況について話し「文化庁に要請に行って、予算が付いたが、もともと文化への予算が少ない。諸外国の10分の1、韓国の20分の1だ。国立大に演劇科がない国は他にはない」と指摘しました。

ジャーナリスト・志葉玲さんは難民の収容施設での虐待の実態を話し「日本はいつから人権侵害国家になったのか。難民をいじめる安倍政権が私たちの人権を守るわけがない」と訴えました。

憲法9条を壊すな！実行委員会・菱山南帆子さんが、行動提起を行いました。

「私の一言」届いています! その7

憲法共同センター「憲法リーフ」の署名ハガキが返信されて来ています。そこにある「私の一言」欄に寄せられた言葉を紹介します。

あまりにもひどい嘘とゴマ化しの安倍政治を変えなければ、私たちの暮らしも守れません。みんなで一歩踏み出しましょう(岩手県盛岡市から)。

請願事項に強く賛同します。9条は世界に広めるべきです。コロナ禍の中、軍事より、教育・福祉に力を注ぐべきです。日本がその手本を示すべきです(東京都板橋区から)。

戦争する国、そんなことを一切求めていません。今後も戦争をしない約束をしてください。コロナを最優先すべきだと思います。戦争する国づくりは絶対にやめてください。みなさんは、戦争なんて絶対求めていないから、やめてほしいです。戦争する国は間違っていますからやめてほしいです(福岡県大牟田市から)。

福祉を削り、平和憲法を軽んじ、軍備を進めた結果、ウイルスの対応に十分な手を打たず、国民の生命もしっかり守れない国となった今、平和への一歩、一歩を確実にしていく時、そのことで国民の命が守られる(東京都青梅市から)。

私の兄は戦地で昭和19年に亡くなりました。母はそれを聞いて悲しみに暮れ、1カ月間、物も話せませんでした。私は子ども心に、戦争は恐いし、してはいけないと痛感しました(金沢市から)。

●当面の行動

6月26日(金)18時～19時 ウィメンズアクション 有楽町・イトシア前

7月6日(月)18時～ 総がかり行動実行委員会署名宣伝 新宿駅西口

7月9日(木)17時30分～18時30分 憲法共同センター「9の日」行動 新宿駅西口

7月19日(日)15時～ 総がかり行動実行委員会「19日行動」 国会議員会館前